



「保護者、地域との連携を目指して」

只見町立朝日小学校  
校長 神田 忠恒

現在、各学校において「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた様々な取り組みがなされています。

私の勤務校、只見町立朝日小学校においても学校運営協議会の開催や、地域の方を講師に迎えたクラブ活動（太鼓クラブ、自然工芸クラブ、伝承遊びクラブ）を行っています。

また、この7月には朝日公民館と朝日地区地域づくり委員会と協力して、学校近くの黒谷川で川遊びや、水質・生き物調査、そして、イワナを焼いて食べて楽しむ「なかよし活動」を全校生で行う予定です。

その際に、地域の方から「子供たちには、いろいろな体験学習をとおして、只見町の自然の豊かさ、すばらしさを、五感で感じ取ってほしい。きっとそこから、生きる上での知恵や生きる力が生まれてくるのではないか。」という話をいただきました。その話を聞いて、地域と学校が連携する意義を再確認できたように思いました。

子供たちのよりよい成長のためには、学校と保護者、そして地域の連携が必要になります。そのためにも、「子供たちのために」という共通の目的に立ちながら、校長として、さらなる連携・協働の道を探っていきたいと思います。



「新任教頭として」

檜枝岐村立檜枝岐中学校  
教頭 齋藤 聡

私は柳津町出身ですが、初任校の館岩中から始まり、只見中、さいたま市立館岩少年自然の家、荒海中と南会津での勤務も18年が経ちました。家族に4月からの勤務先は「檜枝岐中」と予想して話していたら、見事「檜枝岐中」勤務となりました。なじみのあるこの地で、新任教頭としてスタートできることに感謝したいと思いました。

4月1日は、先生方からの「教頭先生」と慣れない呼ばれ方に戸惑い、膨大な報告文書に驚き、「私は大変なところに足を踏み入れてしまった。」「これから頼られる教頭になることができるのか。」「学校をまわしていくことができるのか。」と、不安しもなく自分の力のなさを実感した1日でした。ですが、先生方のたくさんの支えのおかげで、今まで無事に過ごすことができ、チーム檜枝岐小中の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

話は変わりますが、「未在」という私が好きで禅語があります。（らしくないと思う方もいらっしゃると思いますが…）何事においても、どんなに目的に到達しても、成功しても、限りなく、先の目標に向かって「まだまだ（未在）」であるという教えです。この教えの通り、困る前に相談できる。困る前にアドバイスできる。周囲への感謝・気遣いができる。そのような教頭を目指して、日々精進していきたいと思います。

いきいき南会



『くちびるに歌を』もちながら」

下郷町立下郷中学校  
教諭 石橋 さつき

私は数年間の講師経験を経て、この4月に新採用となりました。音楽科の採用が少ない中、何度も採用試験に挑戦し、やっと採用通知を受け取ることができました。

私はもともと人と話すのが得意な方ではありません。自分を開示していくのも苦手です。ではなぜこの職を選んだのだろう…と今でも時々考えます。そして、いつも「やっぱり音楽が好きだ」とこの思いにたどり着きます。生き生きとした中学生と音楽をすること、歌うことが好きで、子供たちとの感動を一緒に共有し、成長していくことのできるこの職を目指していたのだと実感します。

今でも新しい環境に戸惑うことがあります。今まで経験がないことには尻込みもしますし、研究も必要です。ただ、今は少しずつ前進できるように尽力していく所存です。時々立ち止まる時もありますが、辛い時こそ『くちびるに歌を』もちながら、音楽を「楽しく」できるよう子供たちと一緒に励んでいきたいと思っています。

下郷中学校の生徒の皆さんは、活発なエネルギーにあふれています。そのエネルギーに圧倒されるときもありますが、毎日少しずつ、努力を積み重ねていきたいと思います。

（『くちびるに歌を持って、心に太陽を持って～』  
ドイツ人作家ツェーザル・フライシュレンの詩より）



「自分らしさを大切に」

南会津町立館岩小学校  
養護教諭 坂本 真由

いわき市出身の私が、館岩小学校に初めて訪れた日は、未だ地面に雪が残っており、白い世界に感銘を受けました。それから多くの方と出会い、南会津ならではの行事をたくさん経験し、あっという間に約3ヶ月が過ぎていきました。

個性豊かで素直な館岩の子供たちは、学年を問わず協力し合い、様々なことにチャレンジすることができます。また、周りのために行動する姿や、何事にも興味を持って取り組む姿から、私の方が大切なことに気付かされる毎日です。

はじめは、養護教諭という一人職の難しさを感じ、何事にも不安を抱えながらのスタートでした。しかし、今では南会津での暮らしや学校での生活にも慣れ、館岩の方々に支えられながらも養護教諭として成長できているのではないかと感じています。また、少人数の学校だからこそできる「毎日、児童全員と必ず会話すること」を小さな目標としています。“私らしい”言葉かけをすることで、子供たちが安心して自分らしく過ごすことができる環境をつくっていきたくと考えています。

まだまだ未熟な私ですが、子供たち全員が、心身共に健康で充実した学校生活を送ることができるよう、養護教諭として尽力していきます。